

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【公開番号】特開2018-148890(P2018-148890A)

【公開日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-037

【出願番号】特願2018-76758(P2018-76758)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/37	(2006.01)
C 1 2 N	15/67	(2006.01)
C 1 2 N	15/861	(2006.01)
C 0 7 K	14/025	(2006.01)
A 6 1 P	31/20	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/04	(2006.01)
A 6 1 P	13/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/12	(2006.01)
A 6 1 K	39/235	(2006.01)
A 6 1 K	35/761	(2015.01)
A 6 1 K	35/76	(2015.01)
C 1 2 N	15/10	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/37	Z N A
C 1 2 N	15/67	Z
C 1 2 N	15/861	Z
C 0 7 K	14/025	
A 6 1 P	31/20	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	15/08	
A 6 1 P	11/04	
A 6 1 P	13/00	
A 6 1 K	39/12	
A 6 1 K	39/235	
A 6 1 K	35/761	
A 6 1 K	35/76	
C 1 2 N	15/10	2 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月2日(2018.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号 1 を含むポリペプチドをコードする核酸分子を含み、組換えポックスウイルスベクターである、ベクター。

【請求項 2】

前記ポリペプチドがヒトパピローマウイルス(HPV)E2タンパク質の少なくとも1つのエピトープをさらに含む、請求項1に記載のベクター。

【請求項 3】

前記ポリペプチドが、DNA結合ドメイン内に欠失または突然変異を有するHPV16 E2タンパク質を含む、請求項2に記載のベクター。

【請求項 4】

前記ポリペプチドが配列番号3または配列番号5を含む、請求項3に記載のベクター。

【請求項 5】

ワクシニアウイルスベクターである、請求項1~4のいずれか一項に記載のベクター。

【請求項 6】

修飾ワクシニアアンカラ(MVA)である、請求項1~5のいずれか一項に記載のベクター。

【請求項 7】

前記ポリペプチドをコードする配列がプロモーターに作動可能に連結されている、請求項1~6のいずれか一項に記載のベクター。

【請求項 8】

配列番号1を含むポリペプチドをコードする核酸分子を含み、組換えヒトアデノウイルス血清型26である、ベクター。

【請求項 9】

前記ポリペプチドがヒトパピローマウイルス(HPV)E2タンパク質の少なくとも1つのエピトープをさらに含む、請求項8に記載のベクター。

【請求項 10】

前記ポリペプチドが、DNA結合ドメイン内に欠失または突然変異を有するHPV16 E2タンパク質を含む、請求項9に記載のベクター。

【請求項 11】

前記ポリペプチドが配列番号3または配列番号5を含む、請求項10に記載のベクター。

。

【請求項 12】

前記ポリペプチドをコードする配列がプロモーターに作動可能に連結されている、請求項8~11のいずれか一項に記載のベクター。

【請求項 13】

前記組換えヒトアデノウイルス血清型26がE1を欠損している、請求項8~12のいずれか一項に記載のベクター。

【請求項 14】

配列番号2を含む、請求項8~13のいずれか一項に記載のベクター。

【請求項 15】

請求項1~14のいずれか一項に記載のベクター、および薬学的に許容できる賦形剤を含むワクチン組成物。

【請求項 16】

被験者におけるHPVに対する免疫応答を誘導するための、請求項15に記載のワクチン組成物。

【請求項 17】

前記被験者に2回以上投与される、請求項16に記載のワクチン組成物。

【請求項 18】

持続性HPV感染を治療するための、請求項16に記載のワクチン組成物。